

国内で豚熱の発生が続いています

効果的な防疫で拡大を食い止めましょう <https://jaccnet.zennoh.or.jp/action/>

R7年2月21日 群馬県前橋市の養豚場で豚熱が確認されました(96事例目)。

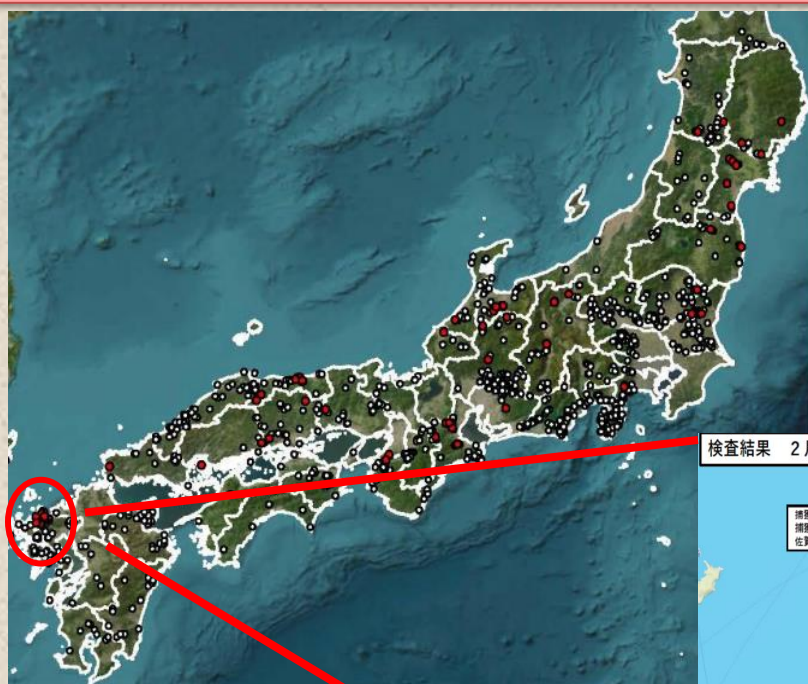
R7年1月以降同地域では2件連続して発生しています。

発生農場周囲ではイノシシの出没が多数報告され、さらに昨年春以降周辺地域で野生イノシシ5頭から豚熱が断続的に検出されています。

野生イノシシの行動範囲は2~3kmですが、狩猟などで追われると10km移動するといわれています。

猟期は3月まで予定されています。農場周囲での野生イノシシからの豚熱検出状況に引き続き注視ください。

野生イノシシからの豚熱検出状況 (R7.2.19時点)



本州・四国では様々な県・地域で豚熱ウイルスが継続的に検出されています。

農水省webサイト

https://www.maff.go.jp/j/syuan/douei/csf/attach/pdf/wildboar_map-1249.pdf

検査結果 2月25日時点

捕獲 成獣雌 150cm/100kg
捕獲日: 令和7年2月20日
佐賀県玄海町 陽性

捕獲 成獣雌 130cm/60kg
捕獲日: 令和7年2月18日
佐賀県唐津市 陽性

死亡 成獣雌 60cm/10kg
発見日: 令和7年2月17日
佐賀県伊万里市 陽性

佐賀県においては2月以降5件が報告され(のべ55件)ています。検出地域は唐津市から伊万里市へと徐々に拡大傾向です。

佐賀県webサイト <https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00364686/index.html>

イノシシへの備えを

豚熱発生を防ぐには、日ごろの飼養衛生管理の徹底が重要です
特にイノシシなど野生動物・野鳥の侵入防止に注力しましょう！
防護柵に関しては定期的に破損部分がないか点検を！

イノシシの習性

昼夜を問わずエサを求めて活動します

学習能力が高く、エサが食べられると分かると何度も侵入を試みます

**イノシシは柵をくぐり抜けようとします。柵の固定をしっかり
しましょう。冬眠はせず、年中活動しています**

豚熱感染イノシシが確認された地域は伝播リスクが高まっています
**農場近くで感染イノシシがないか野生イノシシ検査状況
(農水省webページ)をチェックしましょう**

https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/csf/wildboar_map.html

農場に豚熱ウイルスを入れないための取り組み

病原体を入れない

野生動物対策

1. 衛生管理区域境界部分フェンス設置
2. 農場・畜舎周囲の除草・整理整頓
3. 畜舎、堆肥舎への防鳥ネット設置
4. 畜舎破損箇所の修繕
5. 畜舎床面を介した雨水等侵入防止

人・車両・資材を介した持ち込み対策

1. 人、車両立入り規制、入場履歴記録
2. 農場内に人が入る場合は手指消毒、専用衣服・靴の着用、
3. 農場内に車出入時は動力噴霧器による薬液消毒、資材搬入時消毒
4. 外部導入豚は一定期間在来豚と隔離

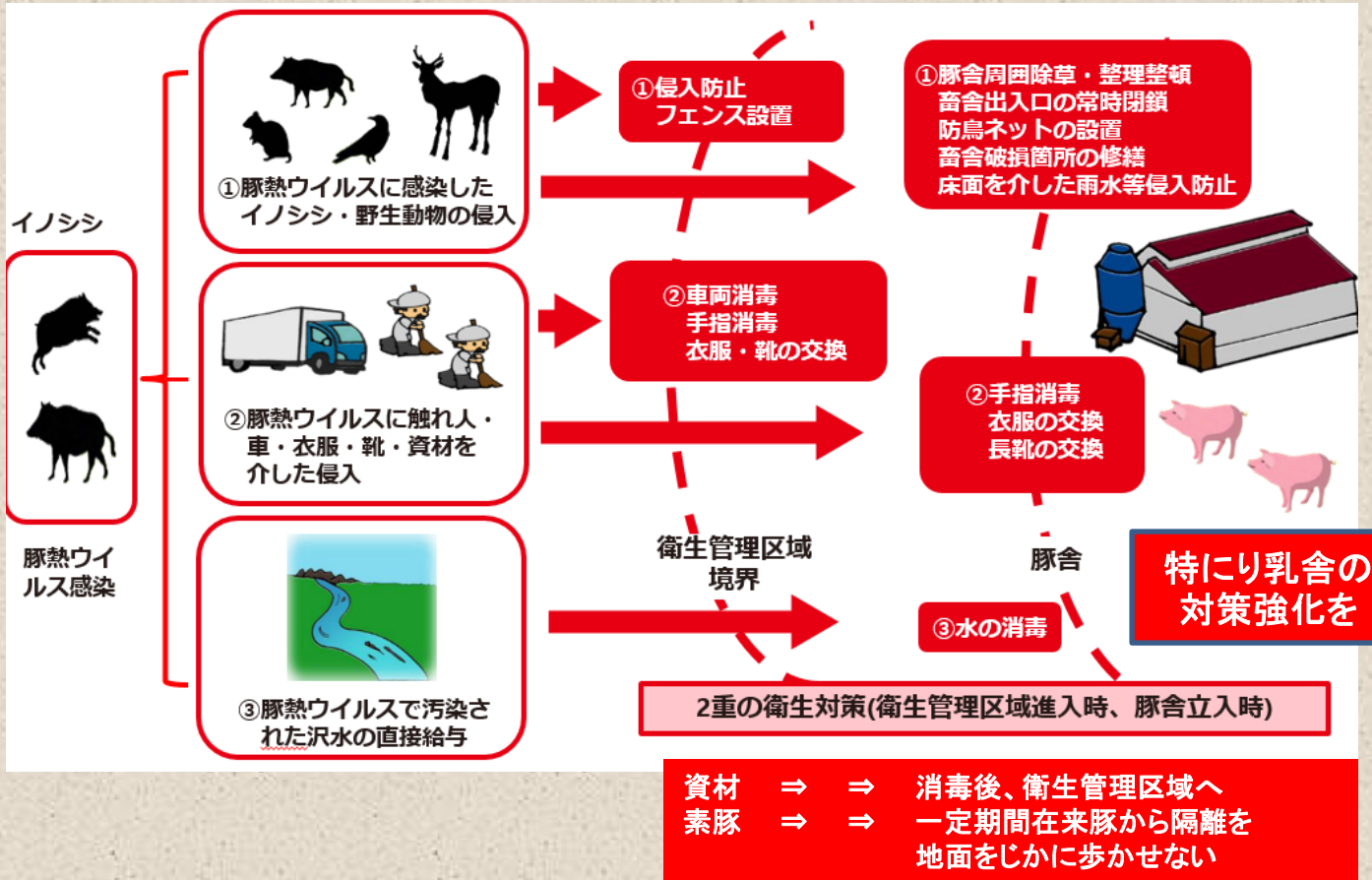
病原体を広げない

1. 畜舎毎に専用の手指消毒薬、衣服・長靴を設置・使用
畜舎内外衣服・長靴の交差汚染防止
2. 畜舎毎に踏込消毒槽を設置・使用
3. 毎日の豚の健康観察と記録
4. 畜舎が空になったら必ず清掃・消毒
5. ネズミ、ハエの定期的な駆除

病原体を増やさない

1. 過密をさげ、適切な密度で飼育
2. 調子の悪い個体の早期発見・対応
3. 暑すぎ、寒すぎ、換気不足、すきま風
これらを避けた良い環境で飼育する
4. 畜舎の定期的な掃除

ウイルスの農場進入予防ポイント (2重の衛生対策)



豚群の健康観察徹底を

毎日の豚群の健康状態観察の徹底が基本です

特徴的な症状が無く、気がつきにくい疾病です！

発熱、食欲不振、元気消失等、うずくまり、便秘に続く下痢、呼吸障害等

異状を発見したら直ちに通報しましょう！



重症例は後肢麻痺・運動失調・四肢の激しい痙縮などの神経症状、皮下出血による紫斑（耳翼、尾、腹部、内股部）を呈し死亡。

写真出典：岐阜県

農水省webサイト

<https://www.maff.go.jp/j/syoutan/douei/csf/farmer.html>

豚熱に効く消毒剤

種類	商品名	希釈倍数	種類	商品名	希釈倍数
塩素剤	ビルコンS クレンテ スミクロール	500倍～2000倍	逆性石けん	ロンテクト パコマ クリアキル100 アストップ	500倍～2000倍
		300倍～3000倍			500倍～2000倍
100倍～1000倍	500倍～2000倍				
ヨウ素剤	クリンナップA ファインホール バイオシッド30 ポリアアップ16	200倍～800倍 200倍～800倍 500倍～1000倍 2000倍～5000倍			オルソ剤
アルデヒド	グルタクリン エクスカット	200倍～1000倍	100倍～300倍		
		200倍～1000倍	100倍～200倍		

消毒薬以外にも、過酢酸系除菌剤(ビネパワー)の600倍希釈液を踏込消毒槽に使うことも推奨します

希釈倍率	以下の量の消毒液を作るのに必要な原液			以下の量の原液で作れる消毒液の量		
	18リットル	100リットル	500リットル	100cc	250cc	500cc
100倍	180cc	1リットル	5リットル	10リットル	25リットル	50リットル
300倍	60cc	333cc	1.7リットル	30リットル	75リットル	150リットル
500倍	36cc	200cc	1リットル	50リットル	125リットル	250リットル
1000倍	18cc	100cc	500cc	100リットル	250リットル	500リットル
3000倍	6cc	33cc	166cc	300リットル	750リットル	1500リットル
5000倍	4cc	20cc	100cc	500リットル	1250リットル	2500リットル

冬場の踏込消毒槽対策

- ①ロンテクト+フィーネナチュラルパウダー(フィーネ)の併用*1
- ②踏込槽の畜舎前室設置、屋外使用の場合は凍結防止剤*2利用

*1:フィーネを併用することでpH12以上の強アルカリ溶液となり、低温下でも消毒効果が持続します(0.2%添加:水18Lに36g、100Lに200g添加)
*2: ウィンドウォッシャー液



【その他衛生情報のご提供】

JA全農では、飼養衛生管理基準を分かりやすく解説したガイドブック等を全農が提供する畜産情報総合サイト『JACCネット』にて無料公開しております。下記リンクからご利用いただけます。

- ・写真・マンガで難しい衛生基準を分かりやすく解説!
- ・英語・ベトナム語など、多言語に対応!

全農 JACCネット

■特集ページ: ページ下部にガイドブック集を掲載。
<https://jacnet.zennoh.or.jp/action/index.html#unit-78487>

